

進路通信



平成30年 8月28日 <3学年4号>

群馬県立勢多農林高等学校 進路指導部

就職試験に向けて

就職希望者はこの夏休みを利用して企業見学に行きました。求人票や企業案内で得ることのできない会社の雰囲気などを実際に自分の目で確かめ、就職先を決定しました。そして、就職を希望する企業へ提出する履歴書を書きました。そこには、1文字1文字丁寧に思いを込めて書く数多くの姿がありました。

8月29日からは3年の教室を会場にして就職面接練習が始まります。合格や内定をするための最大の関門は面接です。本番に向けしっかり準備をして臨みましょう。「志望の動機」や「入社後に取り組みたいこと」、「自己アピール」等を自分の言葉で面接官役の先生やPTAの方々をしっかり伝えられるように準備をして臨んで下さい。以下に面接の際に注意する具体的な点をいくつかあげたいと思います。

① わかみややすさを重視して話す

相手が最も知りたいことや、自分が最も伝えたいことを例などをあげながら具体的に伝えるようにしましょう。

② 聞き取りやすい声とスピードを心がける

相手にとって聞き取りやすい声量を意識し、早口にならないようにしましょう。

③ 相手の目をみる

真剣に話していること、聞いていることが伝わります。イスに座ったらキョロキョロすることなく、相手の目を見て落ち着いて聞いたり話したりするように心がけましょう。

④ 入退室の挨拶・動作をしっかりと

入退場の一連の動作・挨拶について繰り返し練習し流れを把握しておくこと、試験当日も落ち着いて行動することができます。めりはりのきいた挨拶・動作ができるようにしっかり練習をしておきましょう。「失礼します!」「ありがとうございます

ました!」「ハイ!」の返事を元気よく。

⑤ 自信をもって、笑顔で明るく

第一印象が大切です。そのためにも笑顔で話すようにしましょう。質問には自信をもって答えられるように、練習を積んでおきましょう。

⑥ 受験先の会社をしっかりと知っておく

受験する会社のことについて、よく研究しておきましょう。それをもとに、この会社で何がしたいのか答えられるようにしましょう。

⑦ 新聞に目を通しておく

最近のニュースについて聞かれることは多々あります。普段から、ニュースや新聞に興味・関心をもつようにしましょう。

⑧ 服装・頭髪・身だしなみ

正しい身だしなみは清潔感のある姿が基本です。面接官や採用担当者から好印象をもってもらうため日頃から正しい身だしなみを心がけて生活するようにしましょう。正しい身だしなみやマナー、言葉遣いは、日頃の積み重ねによって身につけることができます。また、「身だしなみ検査」でOKになっても、直前にもう一度自己点検をすることを忘れないでください。

面接練習後にはPTAの方々や先生方からより具体的なアドバイスをいただくこととなります。しっかりと受け止めて本番の試験に是非生かしてもらいたいと思います。

また、就職試験が終わったら報告書の提出を忘れないでください。皆さんが先輩方の報告書を読んで準備してきたように、来年は皆さんの書いた報告書を後輩が参考にすることになります。しっかりと細かいところまで書いて提出するようにしてください。

企業から内定をいただいたらお礼状を送ることも忘れないようにしましょう。これからお世話になる会社です。お礼状は速やかに送るようにしてください。

○進学者の今後の予定

9/18 専門学校等希望者模擬面接指導

9/26～10/3 大学・短大進学希望者模擬面接指導

9/28 センター試験出願申込

上記のような日程で進学希望者の面接指導が行われます。

志望の動機や入学後に取り組みたいこと、そして自分が将来どのような職業に就きたいのか、十分に考え準備をして模擬面接に臨んでください。

願書類は書き留め扱いで送りますので、郵便局の窓口を持って行くことを忘れないで下さい。

また、合格が決まると入学手続きを所定の期間内（2週間前後が多い）に完了しなくてはなりません。特に、その際に納める入学手続き時納入金に関しては保護者にお申し、準備していただくようにして下さい。

